

稲作だより 第2号

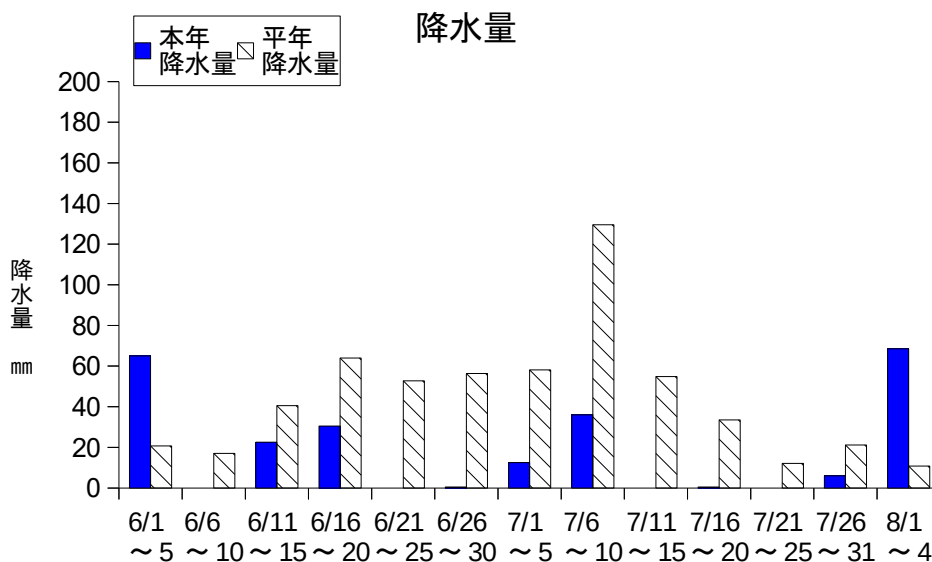
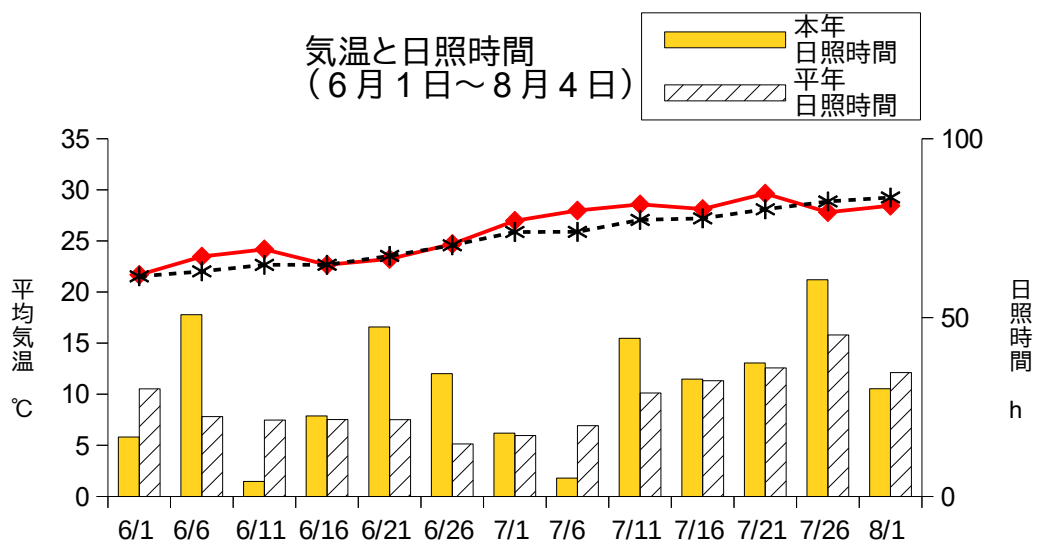
令和3年8月 5日発行
福岡市農業指導センター

北部九州は、6月の降水量が少なかったことに加え、梅雨明け以降も高温・少雨傾向が続いており、今後も同様の傾向が予想されます。今回の稲作だよりでは、出穂期前後の管理と早生品種の収穫適期等についてお知らせします。

1. 気象及び生育概況

- ・気象概況 降水量が非常に少なく、日照は平年を上回りました。
- ・早期水稻 概ね生育順調で間もなく収穫期を迎えます。
- ・普通期水稻 一部地域で水不足による分けつ不足、水田雑草の発生が見られます。

	6月1日～8月4日 (観測地点：前原)				
	平均気温 (°C)	最高気温 (°C)	最低気温 (°C)	降水量 (mm)	日照時間 (h)
令和3年	26.0	30.3	22.4	242.0	403.6
平年値	25.4	29.3	22.1	571.4	345.0
平年差	+0.6	+1.0	+0.3	▲ 329.4	+58.6



2. 水管理

農業用水の不足が深刻化している地域が発生しています。利水調整に関して地域内で十分協議し、農業用水の有効利用に努めて下さい。

1) 出穂期前後の水管理

最も水が必要な時期です。出穂前後1週間は浅水管理を徹底しましょう。

2) 出穂1週間後から収穫期まで

早期の落水は行わず、可能な限り収穫間際まで間断灌水を行いましょう。

3) 台風対策

脱水・倒伏を防ぐため可能な限り深水管理を行い、台風後は水を入れ替え、間断かん水を行いましょう。

【農業用水が少ない場合の水管理の目安】

	灌水頻度	夢つくし 6/10 植	元気つくし 6/20 植	ヒノヒカリ 6/20 植	実りつくし 6/20 植	夢あおば 6/20 植
幼穂形成期	週に1～2回	7/20～	7/31～	8/7～	8/12～	7/24～
穂ばらみ期	週に数回	7/30～	8/9～	8/16～	8/21～	8/4～
出穂・開花期	週に数回	8/9～	8/20～	8/27～	9/1～	8/15～

3. 出穂期及び収穫適期予測

1) 早期 夢つくし (5/20 植えまで)

8月20日頃が収穫適期見込です。

2) 普通期水稲

夢つくし・元気つくしの収穫適期は下表の通りです。

	夢つくし	元気つくし	ヒノヒカリ	実りつくし	ヒヨクモチ	夢あおば	ツクシホマレ
田植え日	6/1	6/10	6/10	6/20	6/20	6/20	6/20
	6/10	6/20	6/20				
出穂期予測	8/4頃	8/15頃	8/25頃	9/1頃	9/4頃	8/15頃	9/3頃
	8/9頃	8/20頃	8/27頃				
収穫適期予測	9/8頃	9/23頃					
	9/13頃	9/29頃					

ヒノヒカリ以降の収穫期は次号でお知らせします！



4. 病害虫の発生状況と対策

1) トビイロウンカ

7月下旬の調査では、殆ど発生が確認されませんでした。

1株あたり1頭以上の発生がある場合は防除を検討しましょう。防除適期は、8月下旬です。今後も注意深く観察して、発生情報を確認して下さい。

昨年7月下旬は、10株あたり1～2頭の発生が見られ、収穫期直前に大発生し大きな被害をもたらしました。今年も引き続き注意しましょう！



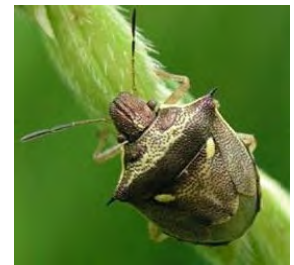
【トビイロウンカ】



【斑点米カメムシ】

2) 斑点米カメムシ

田んぼの中での発生は少ない状況です。出穂10日前までは、こまめな草刈を行いましょう。防除適期は、穂揃い期から7～10日後です。



3) コブノメイガ

食害は見受けられますが、収量への影響は殆どないことから、防除は不要です。

【コブノメイガ】



4) いもち病

全体的に**発生は少ない状況**です。現在、乾燥した田んぼに水が入ると肥料を急速に吸収することから、いもち病が発生しやすい環境になります。上位葉に発生がある場合は「穂いもち」に進行する恐れがあります。

防除が必要な場合は、出穂直前（ジャンボ剤は5日前まで）に行いましょう。「穂いもち」に進行してからの防除は効果が劣ります。

【葉いもち病】



5) 紋枯病

一部の田んぼで確認されていますが、全体的に発生は少ない状況です。高温時に発病が増える傾向がありますので注意して下さい。

【紋枯病】



5. 収穫期・収穫時の留意事項

下記の条件の場合、農産物検査において等級格下げの原因となります。

1) 胴割れ（立毛胴割れ）

早期落水や刈り遅れの場合に、立毛の状態で胴割れが発生します。特に高温年の刈り遅れは発生が多くなります。可能な限り収穫間際まで間断灌水を行いましょう。

2) ヤケ米

収穫した籾を長時間、炎天下にさらしたり、コンバイン袋に入れて放置しているとヤケ米が発生します。収穫後は出来るだけ速やかに乾燥機に入れ送風にしましょう。

3) 稲こうじ病

稲こうじ病菌の損傷を受けたものは「規格外」となります。発生が多い田んぼの収穫乾燥は別に行いましょう。

4) 雑草種子

雑草種子の混入は、等級格下げ（殆どの場合が規格外）になります。色彩選別機でも完全に除去するのは困難ですので、種子が落ちる前に抜き取りましょう。

【胴割れ米】



【稲こうじ病】



【クサネム】



【ナガボノウルシ】



コンバインによる農作業事故
に注意しましょう！



稲の生育・病害虫発生状況は圃場毎に異なります。十分に観察を行い状態を把握しましょう。今後の情報については、引き続き「稲作だより3号」「携帯版稲作情報」でお知らせ致します。